



2025-2026 年度
12月号
NO. 433

強調月間

キリスト教理解 IBC

12月例会



とき 2025年12月11日(木)
18:30~20:30
ところ 東陽町ビストロ「KAZ」(カズ)
(東陽町駅出口3より徒歩3分)
江東区東陽 4-1-24
TEL03-6666-6320
かいひ 4,000円

★プログラム／司会：金丸満雄
開会挨拶 会長 鮎澤正和
食前の感謝／食事
今月の誕生日・結婚記念日
各種報告
閉会の言葉

† 今月の聖句 †

『「その僕イスラエルを受け入れて、憐れみをお忘れになりません、わたしたちの先祖におっしゃったとおり、アブラハムとその子孫に対してこしえに。」』

一ルカによる福音書1章54~55節

THE Y'S MEN'S CLUB OF

TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

〒135-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター TEL03-3615-5565

国際会長：エドワード・オンシガボーム 主題「信念、愛、行動」
アジア太平洋地域会長：田上 正(日本) 主題「信念と愛を持って行動しよう！」
東日本区理事：山下 真(十勝) 主題：「ワイスのらしさ再発見」
関東東部部長：鈴木雅博(江東) 主題：「CHANGE(変革)若者から発信！」
東京ひがしクラブ会長：鮎澤正和 主題「マンネリを楽しみながらさらに前へ！」

11月合同例会報告

11月13日(木)、東陽町センターにて江東・グリーン・ひがしの3クラブ合同例会が行われた。我々の地域に設立された安治川部屋女将をお招きして、定刻の18時30分江東クラブ大原会長の点鐘で開会。グリーンクラブ樋口会長の開会挨拶、山下 真東日本区理事の挨拶、ゲスト紹介等開会セレモニーが終了。食事後香取晴美さん(故香取さんメネット)より、安治川部屋女将杉野森絵莉様が紹介され、「相撲部屋四方山話」をテーマにパワーポイント使用で卓話が行われた。

最初に、安治川親方(元関脇 安美錦)との馴れ初めについて語られた後、2023年春に念願であった安治川部屋を、地域に根ざした場所(江東区石島)に、設立された経緯について話された。現在、部屋には安青錦関を筆頭に、計8名の力士が所属しており、それぞれの力士の個性や趣味&目標についても温かい言葉で紹介いただいた。

部屋の運営において、女将が気にかけていることは、力士たち一人ひとりの心のケアで、稽古で疲れた体だけでなく、力士一人ひとりと向き合い、積極的に話を聞いてあげる時間を設けているとのこと。また、部屋が大切にしている「おもてなし」の精神を挙げられ、部屋を訪れる全ての方に対し親方とともに最後まで質問に耳を傾けるなど、感謝の気持ちを伝える接遇をされていることが印象的だった。

相撲界の担い手が減少している現状を深く憂慮し、その解決に向けて積極的に活動されていることが報告された。「相撲振興普及会」を自ら立ち上げ、その代表幹事として活躍されている。具体的な活動として、引退した力士が円滑に次のキャリアに進めるようサポートする。また、地域住民や他の競技団体との連携を通じて、角界の未来を担う人材の発掘・育成にも尽力されている。そして、子どもたちに相撲の楽しさや、魅力を直接伝える活動にも力を入れており、普及活動にかける熱意が伝わる卓話でした。

11月合同例会

出席者 35名 ビジター 2名
ひがし出席数 8名 ゲスト 4名
(在籍数 14名 広義会員2名)
江東クラブ 13名
グリーンクラブ 8名

ひがし会員出席率 58 %

スマイル

2025-2026 年度
11月
YMCA国際協力募金へ
累計 21,000円

2025-2026 年度役員

会長	鮎澤正和
副会長	金丸満雄
書記	金丸満雄
会計	田島和子
担当主事	沖 利柯



安治錦関
初優勝!!大関昇進!!!
おめでとうございます



★江東 YMCA バザー★

11月9日(日)、江東YMCAバザーに参加した。開会時から雨となりテントの中でのクレープ屋さん。なんと、園児のお父さんがヘルプで参加。最初はおぼつかない手つきで苦戦したが、さすが若さで次第にコツを覚え、夢中にクレープを焼く姿が微笑ましかった。会場では心配した天気も降ったりやんだりで、何とか抽選会が終わるまで持ちこたえた。テントのおかげで雨にも濡れず、用意したクレープ生地を焼き上げ完売した。

次は、12月のオープンハウス。頑張るぞー！



★★★★★★★★★★★★★★★★★★ ★おめでとう 伊東クラブ50周年★

11月15日(土)、伊東クラブ設立50周年記念例会に、鮎澤会長、沖さん、金丸の3人が出席した。会場のサンハトヤホテルに総勢155名が集い盛況に行われた。トラブルで定刻より40分ほど遅れて開会。伊東市少年少女合唱団による、ウエルカムハーモニーでなごみプログラムが進められた。金子会長挨拶、山下東日本区理事ほか来賓挨拶と続き、伊東クラブメンバーのメモリアルアワー、メンバー表彰、50周年記念として北見クラブとのDBC締結が行われ記念例会は閉会した。

会場移動を行い、17時より祝賀会が開会。7名の祝辞のあと、乾杯で開宴、江東クラブと同テーブルとなり、スチールパンの演奏をバックに和やかに祝宴を楽しんだ。



担当主事 沖 利柯

▼第22回ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会

11月4日~6日、東京YMCAがホストし、「第22回ソウル・台北・東京YMCA指導者協議会(STT)」が「Our Responsibility for the Future - To Leave No One Behind」をテーマにアルカディア市ヶ谷を会場を開催されました。3都市YMCAの役員、会員、職員など54名が参加しました。基調講演は、社会福祉法人賛育会の大江浩氏に「賛育会“赤ちゃんのいのちを守るプロジェクト”～すべてのいのちが守られるために～」と題してお話しいただきました。その他に、各YMCAの活動報告、都内観光等を通して、相互の学びと交流がはからされました。

▼YMCA・YWCA合同祈祷週礼拝

11月13日、「YMCA・YWCA合同祈祷週礼拝」が在日本韓国YMCAにて開催されました。東京YWCA、在日本韓国YMCA、東京YMCAの共催で開催され、会員、職員など44名が参加しました。金聖泰(キム・ソンテ)牧師(在日大韓基督教会 東京教会 副牧師)に「回復する家の物語」と題して奨励をいただき、第2部では交流の時をもちました。

▼国際協力一斉街頭募金

11月15日、「国際協力一斉街頭募金」を新宿駅周辺で実施しました。会員、ユースボランティア、園児、学生、メンバー、職員など約110名が街頭に立ち、バングラデシュとウクライナへの支援を呼びかけ、200,771円が寄せられました。

▼2025年度賛助会年会・アドバイザー会

11月17日、「2025年度賛助会年会・アドバイザー会」がアルカディア市ヶ谷にて開催され、賛助会員、アドバイザー、役員、職員など計52名が出席しました。氏家純一賛助会長(氏家経済研究所代表取締役)の挨拶で開会し、星野綾主事から東京YMCAの活動報告がなされました。続いて永年継続賛助会員9法人の表彰と新入会員1社の紹介があった。その後、村井純氏(慶應義塾大学特別特区特任教授・東京YMCAアドバイザー)より、「インターネット文明」のテーマで講演がありました。

▼フードパントリー＆子どもクリスマス

12月20日に下町こどもダイニングと、にじいろの子どもたち対象のクリスマス会と、フードパントリーを開催いたします。クリスマス会では社会体育・保育専門学校の学生たちの劇やbingo大会、そしておいしい食事のプレゼントがあります。フードパントリーもクリスマスを楽しく迎えてほしいという願いで開催します。

現在パントリーへのご寄付を募集しております。どうぞよろしくお願ひいたします。

2026年在京ワイズ合同新年会

日 時 2026年1月10日(土)

13:15~16:00

場 所 東陽町センター「YMCAホール」

登録費 3,000円

プログラム

第1部：開会式

第2部：「ユースと話す ウィズを語る」

第3部：懇親会

ホスト：東京武藏野多摩クラブ